

# はまゆう仕上げ 施工の手引き

## 適用品番

ジョリパットアルファ JP-100シリーズ

ジョリパットノンフリーズ JPW-100シリーズ

【初版】平成22年 4月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-500	1液水系アクリルシーラー (水で50~100% 希釈して使用)	18kg/缶	約135~240 m <sup>2</sup> (水希釈量で 変動)
	<u>ジョリパットシーラー</u> <u>JS-410</u>	<u>1液溶剤系</u> <u>アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg/缶</u>	<u>約75~100 m<sup>2</sup></u>
	<u>セーフシーラー</u> <u>JS-800</u>	<u>1液水系珪酸系シーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約80~106 m<sup>2</sup></u>
主材	<u>ジョリパットアルファ JP-100 シリーズ</u> ( <u>ジョリパットノブリーズ JPW-100 シリーズ</u> ) 標準色 <u>JP(W)-100T</u> ( <u>...数字</u> ) 特注色 <u>JP(W)-100</u> ( <u>...英字、...数字</u> )	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	約7 m <sup>2</sup>

セーフシーラー JS-800 は2kg×2個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約20~25 m<sup>2</sup>/セット)

使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

ジョリパットノブリーズの使用目安温度は-6 ~ 10 度です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

< 主な施工道具 >

- ・金ゴテ
- ・はまゆうローラー (ジョリパットローラー JR - 61 : 7インチ)
- ・隅用ローラー (ジョリパットローラー JR - 25)
- ・ヘッドカットローラー (平面用：ジョリパットローラー JR - 26)  
(隅用：ジョリパットローラー JR - 27)
- ・灯油

< 下地調整 >

モルタル金ゴテ押さえ (平滑) など

<はまゆう仕上げ施工方法>

1.シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	9~18ℓ
塗 布 量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-410の場合

配 合	JS-410	15kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-800の場合

配 合	JS-800	16kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。

3時間以上48時間以内

2.主材 下塗り

・JP(W)-100シリーズを無希釈で0.9kg/m<sup>2</sup>となるよう金ゴテにて平滑に塗布してください。

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3.主材 配り塗り

配 合	<u>JP(W)-100シリーズ</u>	20kg
塗 布 量	約2.0kg/m <sup>2</sup>	
施工道具	金ゴテ	
	材料を均一に配り塗りして下さい。	

追いかけて(5分以内)

4.パターン付け

・あらかじめ水に浸して絞り湿らせたはまゆうローラー(中毛ウールローラー、JR-61)に主材を含ませ、次に配り塗りした主材が乾燥しないうちに、JR-61ローラーで弧を描く様にランダムにパターン付けして下さい。(図-1)

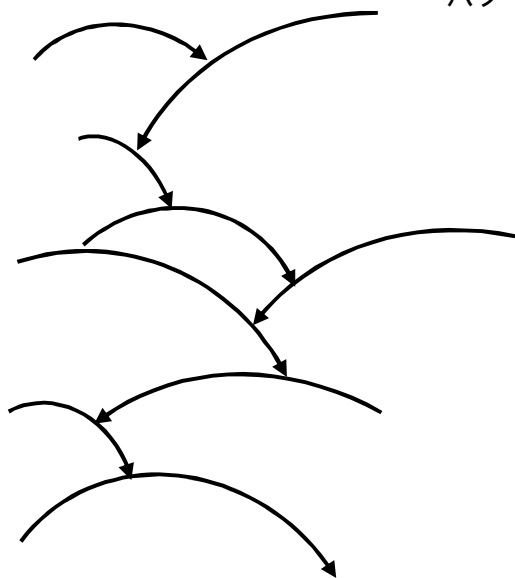
追いかけて(5分以内)

5. ヘッドカット(押さえ)

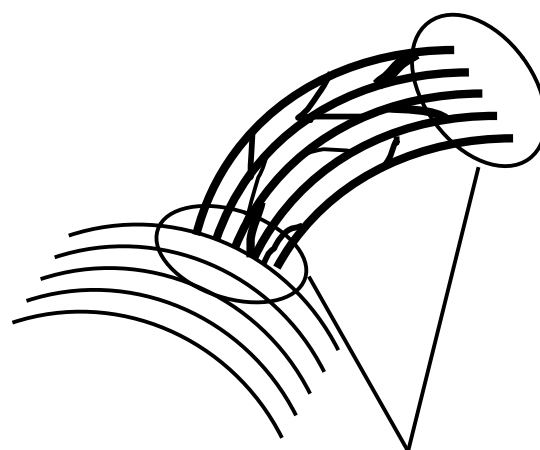
・ヘッドカットローラーJR-26(平面用)やJR-27(入隅用)を灯油に充分浸してから、模様をヘッドカットローラーが転がるよう軽く押さえてください。

<施工のポイント>

・パターンの端が重なるように施工して下さい。



ローラーの動きの一例



この部分のパターンが重なるようにパターン付けしてください。

図 - 1

- ・はまゆうローラーがあまり回転しないように(ローラーを引きずるような感覚で)パターンを付けてください。
- ・はまゆうのパターン付けは、大きい弓状模様と小さい弓状模様がたくさん重なりあうようにランダムに組み合わせてください。

・パターンが規則正しくならないよう注意してください。

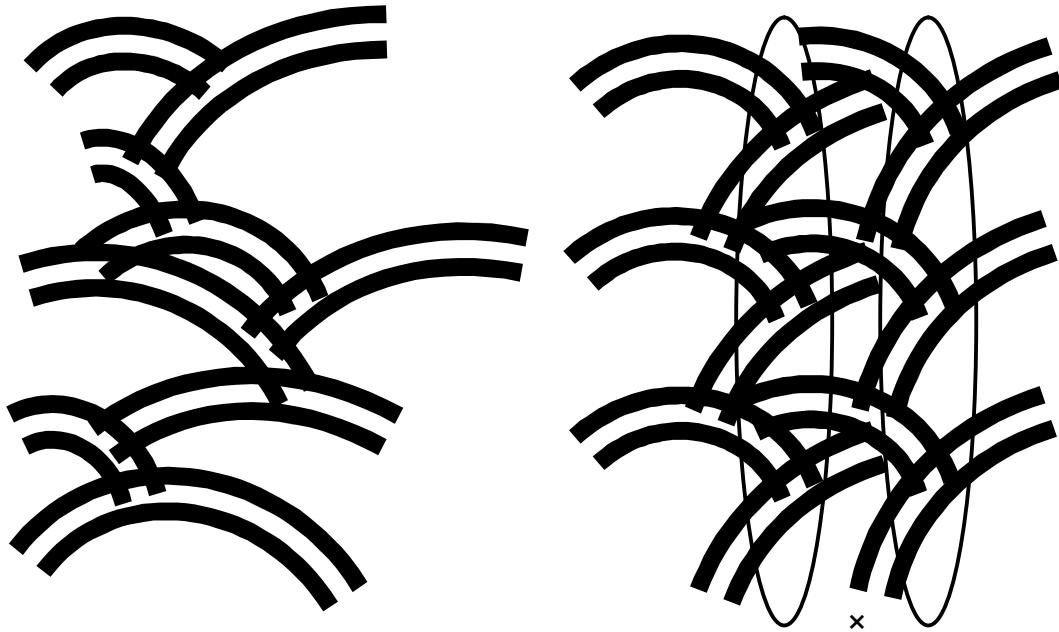
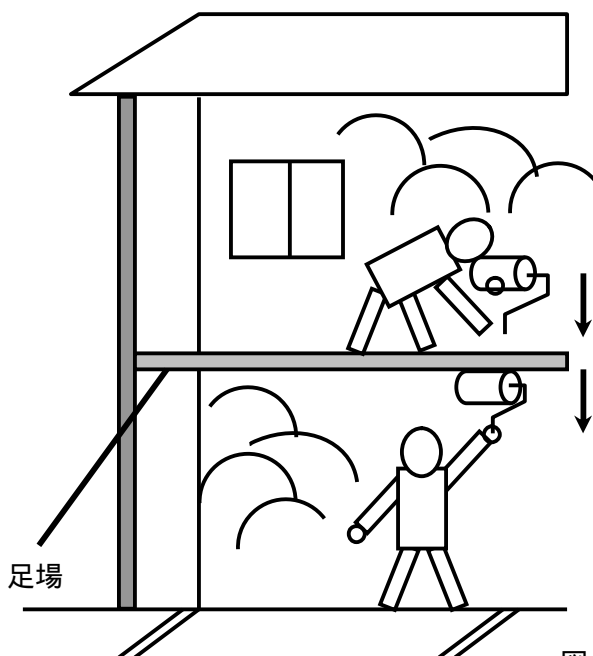


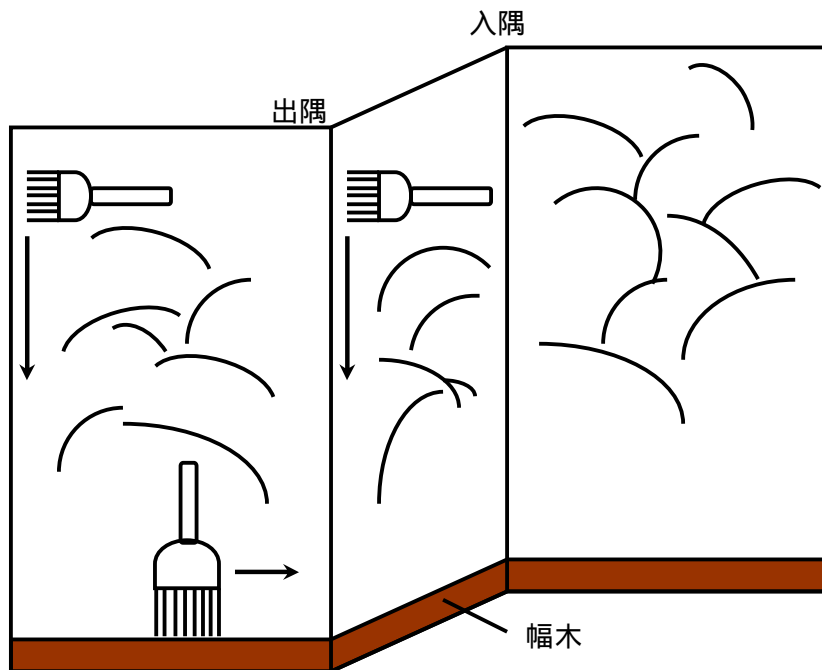
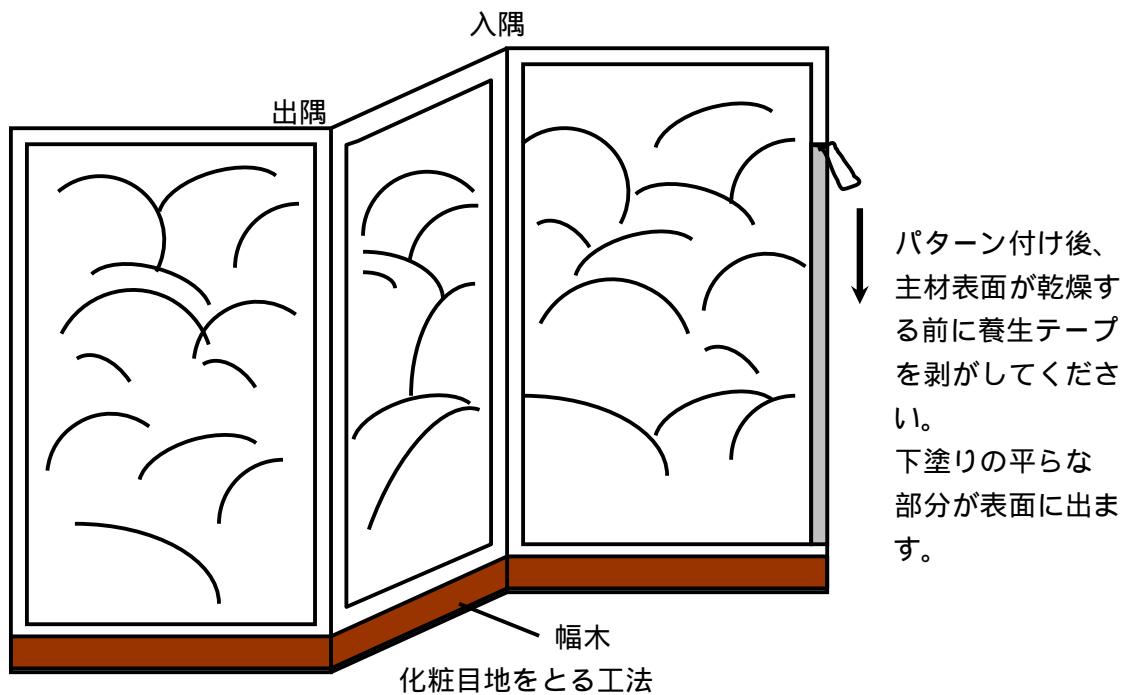
図 - 2



足場の部分で縦に塗り継ぐ場合は、  
足場の上と下で時間をあけないよう  
2～3人で組んで施工して下さい。  
主材の表面が乾燥して皮がはる前に  
パターンをつないで下さい。  
(皮ばり後にパターン付つなぎを行う  
と、汚くなり継ぎが目立ちます。)

図 - 3

- ・入隅や出隅、幅木のちりは、化粧目地をとるかジョリパットが乾燥する前に水を浸した刷毛（平刷毛など）で押さえるとキレイに納まります。（図 4）



刷毛で押さえる工法

図 4

- ・大面積を施工する場合、ジョリパットの表面が皮ぱりした後にパターンをつなぐと模様つなぎが汚くなる為、化粧目地をとるよう工夫してください。( 図 - 5 )

( 例 )

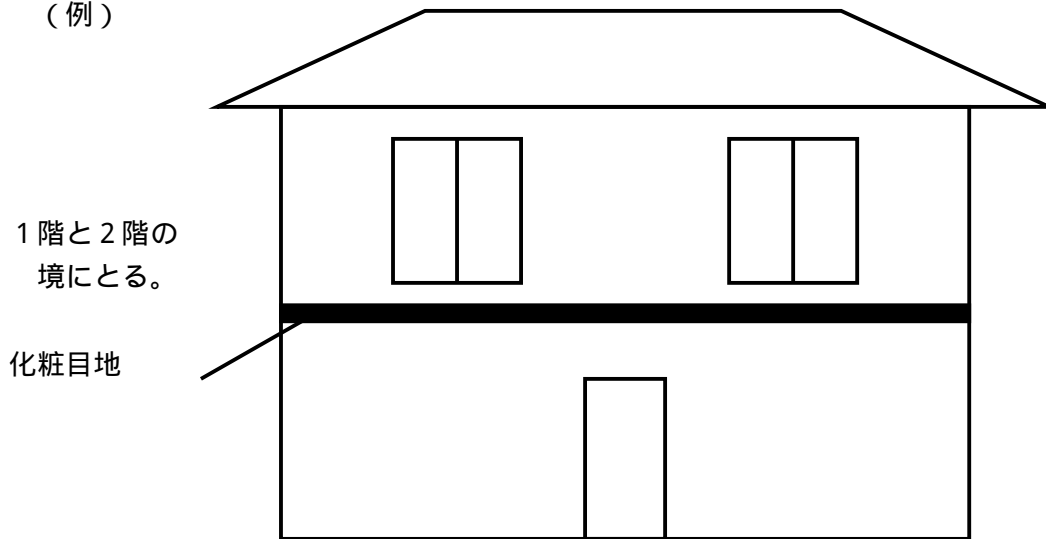


図 - 5

< 施工の注意事項 >

- ・配り塗りはできるだけ均一にしてください。  
( パターンを均一にする為 )
- ・塗布量が少ないとパターンが出ない場合があります。
- ・はまゆうローラー J R - 6 1 ( パターンローラー ) にも主材を充分含ませて意匠付けを行ってください。
- ・ヘッドカットローラーは、力を入れず上から下へ軽く転がしてください。  
( 強く押さえると模様が潰れてしまいます。又、下から上へカットローラーを転がすと模様が逆立ってしまいます。 )
- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。  
( 特に外装の大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。 )
- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・気温 5 以下、湿度 80% 以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・冬季の 5 以下での施工の際は、ジョリパットノフリーズ JPW-100 を推奨します。その際シーラーは凍結

防止のためJS-410をご使用ください。

しかしながら、-6以下、降雨、降雪などの条件下ではJPW-100使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。

- ・シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮ください。
- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上